

## 2025/01/25 赤岳主稜

メンバー L 谷内、村中

### 赤岳主稜への再挑戦

先週果たせなかった赤岳主稜への再挑戦です。本来は小同心クラックを予定していましたが、強風の予報だったため、目的地を変更しました。

駐車場に到着した時点では、満天の星空が広がる良い天気。予想より冷え込みは弱く、途中でダウンやフリースを脱ぎながら歩き、行者小屋には約 2 時間で到着しました。風の状況次第では阿弥陀北陵も候補にしていたのですが、行者小屋はほぼ無風。雲の流れも穏やかだったため、先週のリベンジとして赤岳主稜を目指すことにしました。

### 登攀開始

取り付きには、私たちが一番乗りでした。後続にはガイド付きの 6 人パーティーがおり(3 名ずつの行動)、彼らの追い上げは早かったですが、焦らずに行動しました。

1 ピッチ目は、やはり最も苦戦。雪が少なくチョックストーンがトンネル状になっていましたが、くぐり抜けるには狭いです。2 ピッチ目はホールドがしっかりしていて登りやすく、3 ピッチ目は傾斜の緩い階段状の雪面。ここで初めて冬山バリエーションのリードを経験しました。

4 ピッチ目は岩の合間からスタートし、右側から回り込んで急斜面を登ります。5 ピッチ目は凹状の岩場で傾斜は少なく、ここもリードで登りました。岩の間を抜けるとテラスに到着し、ここでロープを片付けます。そこから 15 分ほどで稜線の縦走路に合流しました。

### 下山

赤岳北峰で記念撮影をし、赤岳展望荘を過ぎて地蔵尾根を下降。金属製の階段を下りきったところで装備を解除しました。その後はほとんど休憩を取らずに歩き続け、美濃戸駐車場へ無事到着しました。

### コースタイム

5:30 美濃戸駐車場 - 7:20 行者小屋着 - 8:45 行者小屋発 - 9:15 主稜取り付き - 11:00 終了点 - 11:15 赤岳北峰 - 12:25 行者小屋 - 13:40 美濃戸駐車場



